

## 資料編 第4章

# 【用語解説】



### 1 用語解説

p.241

## 1 用語解説

## A-Z

**AED(自動体外式除細動器)**

心肺停止したときに、電気ショックを与えて心臓の正しいリズムを回復させる装置。

**BCP(事業継続計画)**

災害で被害を受けても、従業員や資産などの被害を最小限にとどめ、事業の早期再開や復旧が可能となるように災害時の対応を準備しておくこと。

**LGBT**

レズビアン(L)、ゲイ(G)、バイセクシュアル(B)、トランスジェンダー(T)の頭文字をとったセクシュアルマイノリティ(性的少数者)の総称。

**SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)**

ツイッターやフェイスブック、ラインなど、登録された利用者同士が交流できるウェブサイトの会員制サービス。

## あ行

**一時避難場所**

地震などが発生した場合の一時的な避難先で、公園や広場、学校の運動場など。

**上町断層帯地震**

豊中市から大阪市の直下を通して岸和田市まで続く長さ約42kmの上町断層帯が動くことで発生する地震。

**液状化**

地震のゆれによって地盤が液体状になる現象。地盤上の建物が傾いたり、下水管などの地下埋設物が浮き上がったたりする被害が発生する。

**エコノミークラス症候群 ⇒p.080****応急危険度判定 ⇒pp.211-212****大阪市防災力強化マンション**

耐震性、耐火性のほか、被災時の生活維持のための設備整備や日常的な防災活動の実施など、防災力に優れたマンションとして大阪市が認定したマンション。

**大津波警報**

高い所で3mを超える津波が予測される場合に発表される津波に関する警報。

**屋内消火栓**

初期消火を目的に屋内に設置された消火栓。1号消火栓は2人以上で操作する必要があるが、易操作性1号消火栓、2号消火栓は1人で操作できる。

## か行

**海溝型地震**

海のプレートと陸のプレートの境界に位置する海溝沿いで発生する地震。

**海拔0m地帯**

地表の高さが満潮時の平均海面よりも低い土地。

**家屋倒壊等氾濫想定区域**

堤防が決壊したときに、建物の倒壊や流失をもたらすような激しい氾濫流の発生が想定される区域。

**感震ブレーカー**

地震が発生した場合に設定値以上のゆれを感知すると、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具。

**感染症**

病原体の感染により発症する病気。災害時にはがれき撤去作業中のけがが原因の破傷風や、避難所でのインフルエンザ流行など、さまざまな感染症に用心が必要。

**帰宅困難者**

大規模な災害の発生により、公共交通機関が広範囲に運行停止し、当面復旧の見通しがない場合において、帰宅できない人のこと。

**吸水土のう**

土の代わりに、水を含むと膨張する吸水剤を利用した土のう。

**吸水ポリマー**

高い吸水能力を持つ素材。紙おむつや携帯トイレなどにも使用されており、自重の何百倍もの水を吸収できる。

**局地的大雨**

急に強く降り、数十分の短時間に狭い範囲に数十mm程度の雨量をもたらす雨。ゲリラ豪雨ともいう。

**緊急地震速報**

地震の発生直後に、強いゆれの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる警報システム。

**警戒レベル ⇒p.119****広域避難場所**

大規模な火災が発生した場合の避難先で、火災に対して安全な大きな公園など。

**公衆無線LAN**

無線LANを利用したインターネットサービスで、飲食店や交通機関などで多くの人が利用できるように用意されているもの。

## さ行

**災害時帰宅支援ステーション ⇒p.052****災害時避難所**

浸水や倒壊により自宅で生活できなくなった区民が避難生活を送る施設で、学校の体育館など。

**災害ボランティアセンター ⇒p.090****災害用伝言ダイヤル ⇒p.199****災害用伝言板 ⇒p.200**

## ① 用語解説

**在宅避難**

災害時に住宅などに損傷がなく津波や火災の危険がない場合に、避難所などに避難せず自宅で生活すること。

**自主防災組織**

地域の防災を目的として自発的に活動する組織。おおむね小学校通学区域単位で、地域活動協議会や連合振興町会等を中心に構成される。

**地震火災**

地震を原因として発生する火災。

**集中豪雨**

同じような場所で数時間にわたり強く降り、百mmから数百mmの雨量をもたらす雨。

**浸水想定区域**

想定される最大規模の水害が発生した場合に、浸水が想定される区域。

**浸水防止パネル**

建物や地下街の入口などに設置し、浸水を防止する装置。板状のものやシート状のものがある。

**垂直避難 ⇒p.121****水平避難 ⇒p.121****生活不活発病 ⇒p.095****【た行】****耐震基準**

建築物を設計するときに、地震に耐えることができる構造の能力を表す基準。

**弾性ストックング ⇒p.080****直下型地震**

都市部などの直下で発生する地震。

**通電火災 ⇒p.058****津波火災 ⇒p.026****津波避難ビル**

津波や洪水が発生した場合の緊急的な避難先で、堅固な高層建物の3階以上の階など。

**電子錠**

電気で開閉操作をする錠前。リモコン・カード方式のものや、暗証番号入力、指紋認証で解錠するものなど。

**特定建築設備等**

昇降機や特定建築物における建築設備や防火設備のこと。専門家による定期的な調査と行政への報告が義務づけられている。

**特定建築物**

多数の人が利用する施設など、法律で定められた特定の用途で利用される建物のこと。特定建築設備等と同じく定期的な調査と報告が義務づけられている。

**【な行】****内水氾濫**

局地的大雨で、下水道や排水路の雨水処理が追いつかず、あふれた雨水によって市街地の建物や土地、道路などが浸水すること。

**南海トラフ巨大地震**

南海トラフを震源とする地震のうち、静岡県から宮崎県までの南海トラフ全域で同時に発生する最大級の地震。

**【は行】****被災証明書 ⇒pp.211-212****備蓄**

災害への備えとして食料や物資を蓄えておくこと。

**避難行動要支援者**

要配慮者（高齢者、障がい者、乳幼児、外国人など）のうち、自ら避難することが困難な人で、その避難を確保するために特に支援が必要な人。

**避難情報 ⇒p.119****福祉避難所 ⇒p.184****ブレーカー**

一定量以上の電力を使用したり、異常電流が流れると回路を自動的に遮断する装置。

**防災アプリ**

スマートフォンなどで動作する防災に役立つアプリケーション。

**防災スピーカー**

区役所や小学校、防潮堤、広域避難場所に設置された屋外スピーカー。災害情報や避難勧告、避難指示が市役所から音声で通報される。

**【ら行】****ライフライン**

電気、ガス、上下水道、電話、交通、通信など都市生活を支える設備。

**罹災証明書 ⇒pp.211-212**

※「り災証明書」は火災により被害を受けた建物、物件のり災程度を消防署が証明するもの。

**ローリングストック ⇒p.031**